

## 『最高の思い出』～球技大会編 その1～

球技大会、本当に最高でした。試合前の練習から閉会式まで、7組は一日中大いに盛り上がりました。サーブが決まったり得点を決めたりした時の喜び。負けそうな時にタイムアウトを取って、『絶対勝つぞ!』と気合を入れて組んだ円陣。みんなで『心をついに』して、仲間の応援を励みに必死でボールを追いかけて、逆転勝利をおさめたり、今まで勝ったことがなかった強敵に勝ったりした時の感動。そして、最高に盛り上がった、本当に大きな声がバレーコートに響き渡ったあの素晴らしい応援。本当に、すべてが最高でした。この感動はきっといつまでも忘れることはできないと思います。先生も本当に7組の担任で、みんなと一緒に球技大会ができてよかったと心から思いました。

そんな素敵な一日について松尾さんが書いてくれた大変感動的な日記をぜひご覧ください。



6月8日の日記

松尾さん

今日球技大会がありました。何組とやっても、どことやっても楽しかったです。私は、順位はいらなと思いました。だって、どこのクラスも一生懸命応援していたし、一生懸命プレーしていました。だから、私はどこのクラスも1位だと思います。でも、勝つとすごく嬉しくて、めちゃめちゃ喜べるし、負けるとすごく悔しくて、次は絶対勝つぞという気持ちになってすごくわくわくして楽しかったです。時々、負けたからといって他人の悪口を陰で話したり、「ずるした・せこい」などといった言葉を耳にしました。みんな勝ちたくて、本気でやっているのに、そういう言葉を陰で言ったりしてはダメだと思いました。そういう人たちは「自分が言われたら・・・」ということを考えていないのだと思います。だから、平気で文句を言うんだと思います。

(中略)

でも、私たちのクラスは、「〇組強かったね。」と言ったり、「次は勝とう。」と言ったりしていて、だれも自分がされて嫌なことはしていませんでした。だから、私は『このクラスでよかったなあ』と改めて思いました。

1位ではなくて、トロフィーももらえなかったけれど、私は男女関係なく、クラスみんなで「クラスの絆」をもらったんだと思います。トロフィーも欲しかったけれど、もっともっと超大切なクラスの絆がいっぱいもらったのでよかったです。今日は、とても楽しい球技大会になりました。

本当に素晴らしい作文ですね。トロフィーよりも価値がある『クラスの絆』をこれからの生活にいかして行きましょう。